



進路だより

”高さを仰ぎ 最善を尽くす”

令和2年10月23日発行

第 6 号

前橋工業高校 進路指導部

1 令和2年度 第1学年進路講話を終えて

9月15日(火)5,6校時に進路講話を実施しました。上毛新聞にも紹介されましたが、ハローワークまえばしの金井様が講師を務めました。実施後に1学年約240名から講話のアンケートを取り、特に集計結果で多かったものを下記にあげました。

演題：「ハタラク」について考えよう

～エンプロイアビリティを意識した高校生活を送るために～

NO.1 エンプロイアビリティ(この人なら雇いたいと思わせる力)を意識しながら高校生活を送りたいと感じた。

NO.2 コミュニケーション能力をはじめ、協調性、積極性、チャレンジ精神や主体性などが大切(勉強同様に)なことがわかった。

NO.3 将来の職業を探す前に、普段の健康管理や日常生活も大切である。マイナスに考えている言葉も見方を変えるだけで、プラスになることがわかった。



■前橋工業で3年後の進路を考える講話。生徒たちには3年後の進路選択に向けて高校生活をどう過ごすか考えてもらおうと、前橋工業高(中西信之校長)は、前橋市の同校で、1年生約240人を対象にした進路講話を開いた。写真。同市のハローワークまえばしで就職支援ナビゲーターを務める金井雅美さんが講師を務めた。この人なら雇いたいと思わせる力「エンプロイアビリティ」をテーマに、企業の求めるコミュニケーション能力などについて生徒たちと一緒に考えた。金井さんは「新型コロナウイルス感染症の影響で、これから世の中は変わっていく。その変化も意識して、3年間を過さない」と呼び掛けた。

【上毛新聞より抜粋】



2 3年生のオンライン試験対策について

今年度は、コロナ感染拡大防止により、3年生の入社試験がオンライン試験に変更になった事業所が数社ありました。

進路指導部では、PC、ヘッドフォン付きマイク、スピーカー、カメラなどを準備しました。右の写真は、実際にオンライン面接を実施したときの様子です。3年生就職希望者全員の内定を祈ります。



【オンライン面接】



3 就職採用内定後の過ごし方

■一番大切なこと■ 「自分自身に責任を持つことだと思います。」

社会人というのは、学生と違って、自分の仕事や行動に責任を持たなくてはなりません。

- 自ら進んで仕事に取り組む「積極性」
- 困難な事態にあっても投げ出さずに知恵と勇気を振り絞って乗り越えていく「頑張り」
- 会社や職務にまじめに向き合う「誠実さ」
- チームが力を合わせて仕事を完成させていく「協調性」

などは、すべて社会人として自分自身に責任を持たなければなりません。一人ひとりが自覚を持って残りの高校生活を有意義に過ごして、社会人になるための土台をつくっておくことが大切です。